

令和6年度1月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和6年度1月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和7年1月22日（水） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 103洋室
- 【 主な議題 】 第9回生涯学習笑顔のつどいについて
- 【 出席委員 】 井浦議長、角森委員、石川委員、村山委員、橋爪委員、
丸井委員、砥上委員、倉掛委員、山本委員（以上委員9名）
- 【 欠席委員 】 0名
- 【 事務局 】 生涯学習推進課課長、職員1名
- 【 傍聴者数 】 0名

(配布資料)

- ・レジュメ
- ・第9回笑顔のつどいアンケート結果

1 月期社会教育委員会議 議事録

協議事項「笑顔のつどいの振り返り」

(井浦議長)

「笑顔のつどいの振り返り」について成果と課題を一人一言感想をお願いします。

(アンケート結果の説明)

アンケートでは、公民館の鍵についての意見や、久保西の活動について、感想をいただいています。

(角森委員)

去年よりは参加者が多く、盛り上がったと思う。グループ協議では、台所が地区によって広さに違いがあることや、集会所の鍵を借りることが難しい地区では、活動は厳しいという意見が出た。

(倉掛委員)

今、公民館主事も働いている人が多い。新しい公民館は台所も新しい。庄公民館も古くて狭いが、やりようによっては調理ができる。

(角森委員)

福岡市の公民館の方から行政として、各公民館にスタッフを常駐させる補助があればいいという意見があった。

(井浦議長)

古賀市は自治公民館だが、福岡市は公立公民館なので、毎日開いていて、必ず職員がおり、市によって違いがある。

(角森委員)

公園に集会所がついているところが多い。トイレを使うためにも公民館が開いていたらいいという意見もあった。

(砥上委員)

花見公園はわざと公園にトイレを置いていない。誰が管理するかという問題であえて作らなかった。

今回の笑顔のつどいは、テーマが絞られていたことと、3 団体が同じ方向性で話をされ、皆さん関心があるテーマだった。芯が通った、手応えがある会だった。

反省点としては、学校関係者の参加が少なかったので、もう少し計画的に周知して、学校関係者にももっと聞いてほしかった。私のグループでは、久保西の方から、次の世代で活動が続くようにしたいと意見が出た。いろんな立場で様々な意見が出て、実りのある話し合いだった。もっと時間があっても良かった。

(村山委員)

私のグループは、市役所を退職された民生委員の方だった。自分が住んでいるところで学んでいるところを生かしたいと思い、参加されており、公民館活動に関心を持っていることが分かった。グループ分けを事前にきちんと決めていたので、スムーズに分けられたのがよかった。

(井浦議長)

ご意見にも出ていたが、協議時間を5分延ばしたのがよかったと思う。

(石川委員)

私のグループは花鶴丘3丁目区の方だった。子どもだけでなく、保護者の方も顔を出してほしいという意見があった。花鶴のいいところは、他の地区からの人も受け入れている。教育長からも、今回のような場が広がると古賀市はもっといい市になると言われて、いい会だった。今回も大成功だったと思う。反省点としては、もっと公民館関係者に聞いてほしかった。

(山本委員)

私のグループが、日吉台の方で、子どもが少なく、子どもの活動も減ってきて、高齢者中心の活動になっている。スタッフもいないので、続ける人と費用がないと難しいという意見が出た。今回は、グループワークで意見が言えたこと。委員が中に入って意見を吸い取れたことがよかった。

(井浦議長)

高齢者世帯が増えているが、子どもと高齢者をどうつなげていくかが課題だと思う。

(倉掛委員)

発表を聞きながら、花鶴丘3丁目区は昔から公民館活動活発で、それをどう継承していくか。他2グループは新規で、新しい人がこれからもっとつないでいったらいい。昔からのやり方を継承するだけでなく、意外と新しい人が新しいものを作ってくれると思う。反省点としては、行政区長さん、主事さん個人宛に案内を出したほうが良かったと思う。区長も依頼があったら来るが、回覧が多いので、案内文1枚じゃなかなか情報が入らない。

(丸井委員)

グループ協議には入れなかったが、前から見ていて、とても盛り上がっており、グループ協議の時間も足りないぐらいだった。参加された方たちも自分たちにできることをやってみようと思ったのではないか。

(倉掛委員)

3団体とも、区の課題から子どもたちの活動につなげていった話がとてもよかった。他の区長にも聞いてほしかった。

(井浦議長)

久保西は最初に区の方針をきちんと明確に決めているのがよかった。なかなかそのような地区がないので、参考になったという感想が多く出ていた。

(橋爪委員)

3団体の活動がそれぞれ工夫されてあって、参加者も聞いていて、刺激になったと思う。事務局が作成された台本もコーディネートがしやすくて、大変助かった。

(井浦議長)

今回、あれだけ盛り上がって、参加者がそれぞれの地域でどう広めていけるか。今日のアンケート結果の資料を事務局の力を借りて発信していきたい。来年もつどいに参加したいと思ってほしい。

(橋爪委員)

当日の最後のまとめにも触れたが、今はそれぞれの地区がしている活動を発信しているので、それをひとまとめにした、地域活動に絞ったアカウントがあれば、興味がある人は見る。市がサポートして作ってくれば、他の地域の情報を見ることができる。その中につどいの周知を入れるとチラシよりも集客効果があると思う。

(倉掛委員)

「子どもの居場所」という発信があれば、子どももいろんなところに行けていいと思う。